

一般会計補正予算可決

12月
定例会

総額6936万円を増額

平成25年11月臨時会は11月27日に、12月定例会は、12月3日から11日まで開かれ、条例改正7件や補正予算6件、意見書1件の計14議案を可決しました。(審議結果は4ページに掲載)
なお、6人の議員が一般質問を行い、町当局の考えをただししました。

歳出の主なものは、総務費で子ども・子育て支援制度の平成27年度開始に伴う保育の支給認定などのシステム導入費や、町税過誤納金還付などで3674万円増額しました。

民生費では、小規模通所訓練所が新規に開設されたための運営補助費用や補装員等高額の申請に対応。また、向ヶ池公園内にある「平和の礎」の建立経緯を紹介する案内板設置費用や障がい認定審査に係る医師意見書作成手数料申請増などで3365万4千円増額しました。

消防費では、AED設置補助や津波避難ビル標識の設置、老朽化した兵庫衛星通信ネットワーク更新などで935万9千円増額しました。



▲宮部文庫が設置される図書館内

寄附金500万円で

宮部文庫設置

教育費では、平成26年度幼稚園入園予定者の大幅な増加に対応するために必要な備品費用や、故宮部一夫氏の寄附金から「家族を愛し、ふるさとを愛する宮部文庫」として町立図書館に書籍と書架を整備する費用など535万1千円増額しました。

歳入では、国庫・県支出金として、地域支援活動センターの運営補助や身体障がい者(児)補装具費の増額、電子自治体推進事業等に3459万2千円、町債850万円、寄附金13万円、基金繰入金2613万6千円です。



▲兵庫県衛星通信ネットワークを受信するアンテナ(庁舎屋上)

条例 職員の住居手当を1600円に減額

職員の持ち家にかかる住居手当について、国や県はすでに廃止しており、近隣市の引き下げや廃止予定などの状況も勘案し、本町においても平成26年1月から、月額3500円を1600円に引き下げるとともに、本条例の改正を賛成多数で可決しました。

質疑

問 全国で40%が応じていないと聞きましたが、県内の自治体の対応は。応じない場合、ペナルティーはあるのか。

答 近隣の加古川市や高砂市、明石市は引き下げているが、他については把握していない。また、国からペナルティーの通知は受けていない。

問 引き下げによる財源で、町内に持ち家を希望する職員に補助をするな

条例 水道料金・下水道使用料の消費税を8%に変更

消費税法の一部が改正され、平成26年4月から消費税率が地方消費税と合わせて8%に引き上げられることから、水道料金および下水道使用料にかかる消費税を8%に引き上げるもので、2条例の改正をそれぞれ賛成多数で可決しました。

問 全部の世帯が何の考慮もなく5%から8%に引き上げられることに対して、グループ内で議論はしなかったのか。

答 水道では、引き上げによる影響額は約1500万円。仮に5%で維持すれば事業経営に大きな負担となり、将来的に料金の値上げにつながる。水は生活必需品、軽減税率の適用など国などに要望する考えは。今後そういう機会がある度に行っていきたい。



条例 仮設トイレのし尿汲み取り料を改定

仮設トイレのし尿汲み取り手数料は、一般家庭の従量制世帯と同様に10リットル当たり22円としているが、近隣市町と比べ手数料に大きな隔たりがあるため1基1回50

00円とするもので、本条例の改正を全会一致で可決しました。

幼稚園運営用備品整備事業
宮部文庫設置事業

一般会計補正予算	
増額の主なもの	
電子自治体推進事業	1218万円
町税過誤納金還付事業	2323万円
障害者更生支援事業	217万円
障害福祉サービス事業	2603万円
介護保険事業特別会計繰出事業	147万円
衛星通信ネットワーク設備更新事業	856万円
幼稚園運営用備品整備事業	235万円
宮部文庫設置事業	300万円
減額の主なもの	
下水道特別会計繰出事業	▲590万円
一般会計借入金利子償還事業	▲1051万円
※表中の金額は千円以下は切り捨て	

問 入園者数に対しクラス数が足りていないがどのように対応するのか。

答 播磨幼稚園では遊戯室をパーテーションで区切り、部屋数を増やす。

問 寄附金500万円のうち、計300万円を書架の設置と書籍の購入に充てるが残額は。

答 残りの200万円は、10年間にわたり書籍の購入に充てる。